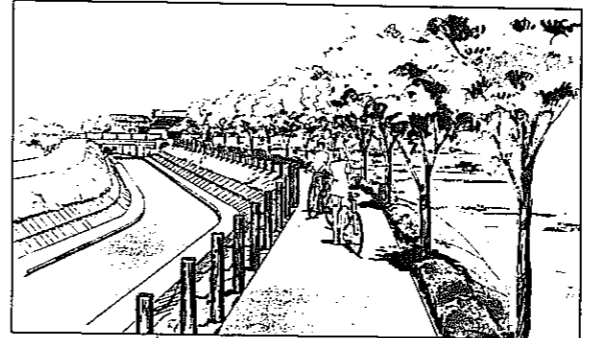


田園風景を一望できるサイクリングロード、測量を開始

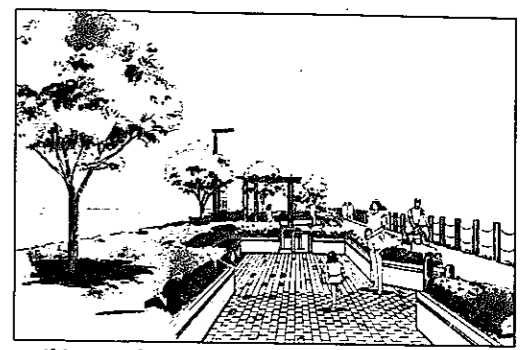
農村総合整備事業・ルーラルアメニティロード



▲ルーラルアメニティロードイメージ図

市では、市内にある観光施設や果樹園などの拠点施設を結ぶ自転車・歩行者専用道路(ルーラルアメニティロード)の工事に、平成十年から着手する予定です。この工事のための測量・設計が十二月から始まりました。

この専用道路の設置は、農林水産省の補助事業として平成五年度から取り組んでいる「農村総合整備事業(モデル型)」の主要事業です。同事業の内容は農道・集落道の整備や防火水槽の設置、農村公園の整備などで、農村の生活を快適なものにする

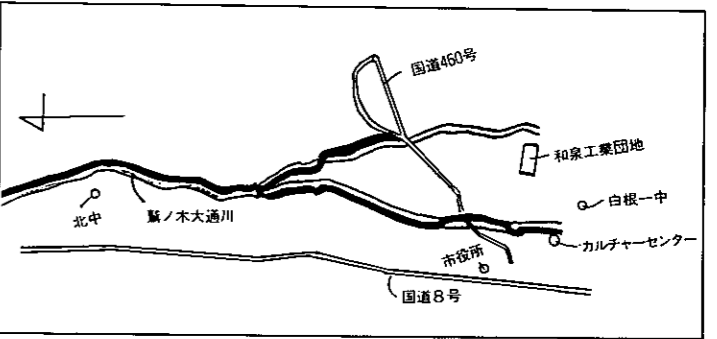


▲ポケットパークイメージ図

区間の二路線、幅三メートル、延長約九千八百メートル。事業費は六億五千五百万円です。

専用道路は、鷲ノ木大通川の堤防上を利用して造られ、市内を一望することができます。途中には、日陰棚やベンチなどを備えた休憩所(ポケットパーク)が二カ所設けられ、ジョギングや散歩、サイクリングを気軽に楽しむことができます。

道路わきには、桜や市の木「サツキ」、市推奨の木「ハナミズキ」などの木々が植えられる予定です。春には花見、初夏には一面緑の早苗がそよぐ田園風景、秋には



防災・救急活動の拠点完成

新しい消防庁舎の完成式が、十二月六日に行われ、消防事務組合関係者、施工業者など約百五十人が出席し、完成を祝いました。

先月号でお知らせしたとおり、最新鋭の通信指令システムを備えた同庁舎。組合管理者の竹内市長は「年々複雑化、多様化する災害や事故に対し、この施設を核として、安全で住みよい地域を目指して精一杯の努力を続けていきたい」と式辞を述べました。その後、絵画寄贈者らに記念品が贈られました。

八日には開庁式が行われ、消防長は署員を前に訓示。「これを機に、初心にかえって自己研さんに努め、職務に励んでください」と呼び掛けました。

紅葉と、四季折々の農村風景を楽しめるよう配慮されています。

都市近郊にあつて、農村風景を楽しめるこの道路は「憩い」、「やすらぎ」の空間を求め、都市住民も訪れることが予想されます。農村風景を見て、都市住民が農業に対する理解を深め、地元住民と積極的に交流を進めることで、地域の活性化の一翼を担うことも期待されます。

今後は農村公園の建設や体験型農園なども計画される予定です。農村環境の整備を進め、大風合戦をはじめとする各種イベントなどを有効に活用し、観光施設を結び付けることができるパイプとしての役割を担うことでしょう。

農村の景観を生かした専用道路の建設は、県内でも初めてのことで、市外からの観光客に白根の良さを見てもらえる「シンボルロード」としても注目を集めそうです。



見学で見聞を広めよう

フレッシュレディー&グリーンセミナー

市農業振興協議会では、「農業経営を学びながら仲間づくりを」と市内農家の女性を対象に、フレッシュレディー&グリーンセミナーを開催。三つのコースに分かれて、月一回の割合で研修を行っています。

十一月には、三コースの合同研修が開かれ、戸頭浄水場や亀田製菓白根工場などを見学。参加者は「生産物加工処理の過程や社員教育の話などを見たり聞いたりできて良かった」と話していました。

サンタさんのレクチエだ

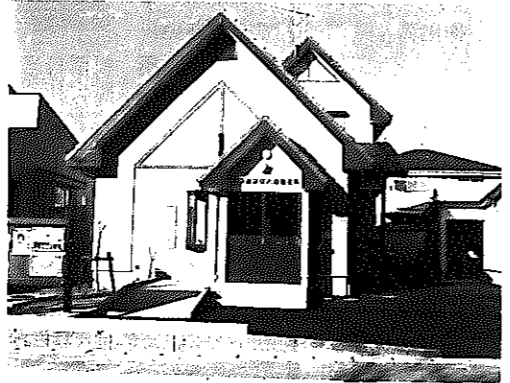
上八枚保育園にル・レクチエのプレゼント



真っ赤な服に白いひげ。クリスマスに先立ち十二月五日、二人のサンタクロースが上八枚保育園の子供たちにル・レクチエをプレゼントしました。これは市農業振興協議会が、ル・レクチエの出荷開始に合わせて、収穫感謝の意味を込めて開催したもの。おやつ時間に合わせて、皿に盛って運ばれてきたル・レクチエ。「洋ナシだ」、「レクチエって言うんだよ」と大喜びの園児たち。名前を知っているあたりは、さすが主産地白根の子供たちです。子供たちの笑顔に、サンタもうれしそう。

任せて、地域の安全

大通駐在所が完成



平成八年四月から建設が進められていた大通駐在所が完成。十一月二十一日から業務が開始されています。総工費は二千六百万円、敷地面積は三百三十三・五八㎡で木造一部二階建て。

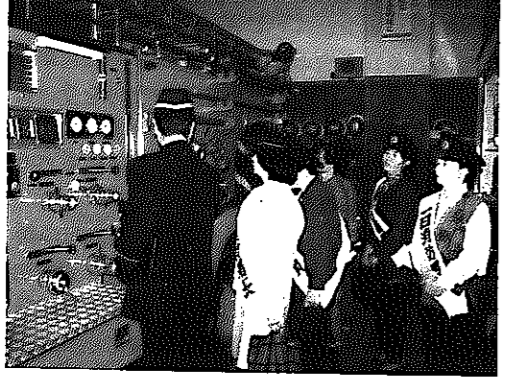
大通地区は国道8号沿いの新興住宅地。団地の造成が進み、人口が急増している地域です。それに伴い、交通事故や犯罪の発生件数も増加しており、住民から駐在所の設置を望む声が多くなっています。

駐在所には小杉忠さんと皆川一夫さんが勤務。「国道8号に近いせい、道を尋ねに来る人も多い」と言います。白根警察署では「パトロールだけではなく、もつときめ細やかな対応ができるよう、いつでも気軽に立ち寄って意見や要望を聞かせてほしい」と話していました。

【大通駐在所】 〒950-12 白根市大通南1-157-2
電話番号 362-7301

火災に対する知識を身に付け、備えも万全

女性グループが一日消防署長・署員を体験



十一月十二日、白根地区消防本部管内の女性グループが一日消防署長・署員を体験しました。これは、同消防本部が、秋の火災予防運動の一環として企画したもの。

辞令交付を受けた女性たちは、早速しるね大風と歴史の館へ向かい、館内の消防設備を見学。その後、消防署で消火器の取り扱い方や火事になった場合の注意点などについて説明を受けました。「家庭には消火器があるものの、使い方は知らない」という参加者が多く、職員の説明に真剣に耳を傾けていました。